

【鹿島中学校1年生の総合的な学習の時間では、このように学習しています。】



博物館での報徳仕法学習の様子



地域体験学習 テーマ「地域を調べる」

《南相馬市内の史跡・施設の見学》

- ①万葉歌碑・万葉植物園
- ②真野古墳群
- ③桜井古墳群・野馬土手・萱浜用水路
- ④南相馬市博物館
- ⑤二宮家住宅跡・報徳訓碑
- ⑥七千石用水路・土樋

《「報徳仕法と鹿島の史跡」についての出前講座授業》
南相馬市博物館職員から、報徳仕法や歴史について説明を受けました。



その他にも、石神中学校の生徒が作画した紙芝居「二宮金次郎と富田高慶」で、報徳仕法について学習しました。

《学習のまとめ》

史跡等の見学や出前講座で学んだことを、まとめ文化祭で発表します。
初めに、個人でまとめ、その後グループでまとめました。



《学習内容の発表》

グループでまとめたものは、「南相馬市PR大作戦」と題して、文化祭のステージ上で発表しました。
また、個人でまとめたものは掲示し発表しました。



【小学校4年生の社会科「きょう土を開く」の学習】

石神第一小学校では、萱浜用水路を見学し、地域に残る用水について学習しています。

西殿堰（原町第一下水処理場付近）から、南相馬市スポーツセンターや桜井古墳周辺の水路を見学し、萱浜用水路は、富田高慶や荒至重が二宮尊徳の教えを学び、水の特長（高低差）を利用して、ため池のない約4km先の萱浜地区へ水を運び、農村を復興し、人々の暮らしも改善されていったことなどを学ぶことができます。



上真野小学校では、七千石用水や唐神ため池等を見学し、地域の用水やため池について学習しています。



二宮尊徳の教えは、至誠と勤労・儉約・分度・推譲の考えを基本としていること。

また、七千石用水を設計をしたのは荒至重らだが、実際に作業をしたのは、地域の農民（皆のご先祖様）で冬の農作業の無い時期に手作業で苦勞し、「褒美」を与えることによって、働く気持ちを高めたことなどを学習しています。

また、富田高慶の弟子入りの際の、「豆のエピソード」から、知識として知るだけでなく、実際に行うことが大切であるという教えを学ぶことができます。

大甕小学校では、【荒至重や村の人は、どうして萱浜用水をつくらうとしたのだろう。】という授業が進められています。

「萱浜村の米の量と世帯数の変化」の表や、「奥州中村藩の年貢・人口の移り変わり」のグラフ等から、当時の地域の様子を読み取り、用水が作られた理由を理解することができています。実際に萱浜用水を見学し、機械の無い時代の手作業による苦勞なども学ぶことができます。

